

(様式2)

議長	局長	課長	補佐	係長	係
森川	谷山	迫田	本村	中西	松本

令和元年12月7日

始良市議会議員 森川和美 様



会 派 名 市民くらぶ
代表者氏名 吉村 賢一

調 査 研 究 報 告 書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和元年10月16日 (水)
- 2 場所 薩摩川内市役所
- 3 目的 自治会の役割、地域おこし隊の活躍について
- 4 該当する政務活動費の使途項目
調査研修費
- 5 支出経費の内訳と金額
お土産 (加治木饅頭) ￥1,800 ①
ガソリン代 ￥1,550 ②
出発時 走行距離 125,221km
出発時 走行距離 125,311km 差引90km
- 6 参加議員名 吉村賢一・上村 親・湯川逸郎・峯下 洋
- 7 活動成果の概要、所見
別紙のとおり
- 8 成果物、資料等
講習ビデオ撮影・パンフレット

領 収 証

市民クラブ様

No. _____

①

★ 五千八百円

但 二千四百円代として

年 10 月 15 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入

印 紙

コクヨ ウケ-55

名物 和治木饅頭 秀

責任者 新 福

鹿児島県姶良郡加治木町本町11

TEL 0995-62-2802

月 貢

PETRAS

納品書【領収書】

②

☆☆☆割引パスワード配信中☆☆☆
燃料価格情報や割引情報のお知らせ
バーコードを携帯カメラで読ませて
空メールを送って、らくらく登録！

メガベトロ株式会社
ペトラス始良店
鹿児島県姶良市東餅田336番地
TEL: (0995)-67-7277 SS-95442

2019年10月16日 16:18 伝票No. 3189
通番2244

様 *

4-95442-000006
お買上 現金

20000
レギュラーガソリン P14 ￥1550
数量 11.23(L)
単価 @138

合計 ￥1,550
(内消費税等 ￥141)
お預り ￥2,000
お釣り ￥450

レギュラーガソリン

@2 -22

4343-4343 05 2019/10/16
上記にて領収書に替えさせていただきます

イオンのガソリンスタンド

PETRAS

@petras-sica

LINE お友だち登録 中

令和元年 11 月 22 日

始良市議会議員会派研修報告

訪問先：薩摩川内市環境課

市民くらぶ 代表 吉村賢一

目的：主に自治会未加入者のごみ収集の在り方について、

記

1. 日時 令和元年 10 月 16 日午前 9 時 55 分～11 時 25 分

2. 研修内容

- ①自治会の役割について
- ②自治会未加入者のごみの収集方法について
- ③地域おこし協力隊の活躍の様子について(資料のみ)

3. 参加者数

議員 4 人(湯川、上村、峯下、吉村)

4. 当日 上村個人車使用

本所中庭集合出発 8 時 30 分 視察後途中昼食を取り 14 時 30 分市役所帰所

挨拶：今塩屋裕一副議長

環境課：小田原謙一課長代理、高山和久主幹廃棄物対策 G 長。

議会事務局：堀之内孝充管理調査 G。

対策(県警 0B 含む)と管理に分かれ、13 名嘱託 3 名衛生協会事務局 3 名
花いっぱい運動を行っている。甕島には納骨堂 2 か所、クリーンセンターがある。

○自治会の役割

- ・ごみステーションの設置と維持管理
- ・ごみの分別及び収集ルールの周知

市民課として、住民登録に来た時に防災マップを配ると同時にゴミ出しの仕方を指導しながら加入を勧めている。大東建託やユーミーのアパートが 10 軒以上ありごみ出し場所を設置するところもある。自治会費は管理会社が集めるところもある。

準会員制度の自治会もある。

8 月が地域振興課で「自治会の加入月間」としている。

自治会費は 1,500~1,800 円/月だが、家族数で異なるところもある。

分別が悪いのは置き去りにして、市役所立ち合いで調べ指導する。

環境美化推進員を自治会毎に 2 人(1 名/100 世帯)出してもらい、2 名で 3 万円/年間の手当てを出す。

薩摩川内市の自治会の課題：役が回ってくれば辞める。メリットがない。(始良市例：松原は5年先まで12区長を決めておく)

○不法投棄

不法投棄は警察と一緒に動く。総体で軽トラ5,60台分が見つかり、業者が林道沿いに捨てるケースが多くてなるべく業者を割り出し引き取りしてもらっている。昨年冷蔵庫30~40台(業者曰く仮置き場のつもりだった)が放置されていたケースがあった。

○ごみの分別

16品目の分類で行っている。

生ごみの分別は行っていない。志布志、大崎(全部リサイクル)は進んでいる。

給食センターは1軒だけ、養豚業者が引き取りに来ている。

不燃物は手作業でピックアップしており、クリーンセンターの収入に入れている。

香川県三豊町はトンネルコンポスト方式 可燃物で捨てるとただの燃えるゴミだが、それを安価な固形燃料に変えて、固形燃料を必要としている企業に販売している。

②未加入者の資源ごみは、ごみ置き場は自治会管理の為、他の市内の7施設へもってきてもらう。

ー以下は視察先の説明資料に基づくー

薩摩川内市の自治会加入状況（H31年4月1日現在）

人 口	94,293 人	(H16 合併時	105,140 人)
世帯数	45,703 世帯	(H16 合併時	44,849 世帯)
加入世帯数	31,741 世帯		
加入率	約70%で減り気味である。		

■視察事項

1 自治会の役割について

- (1) ごみステーションの設置と維持管理
- (2) ごみの分別及び収集ルールの周知

薩摩川内市補助金

1 可燃、不燃、資源ごみステーション補助金

分別収集を促進するため、自治会等が収集施設を設置等する場合に経費の一部を補助する。

区 分	助 成 額
プレハブ型の資源ごみ収集施設の新設、補修、移設 (移転については、設置後3年を経過し	【新設】対象経費の相当額 上限額: 1坪 : 10万円 1. 5坪: 13万円

たものに限る)	2坪以上：15万円 【移設・補修】対象経費の1/2 上限額：3万円
可燃、不燃ごみ等収集施設の新設または補修 また、1坪未満のプレハブ型の新設	【新設】対象経費相当額 上限額：5万円 【補修】対象経費の1/2 上限額：3万円

※H30実績

プレハブ型 設置27件 3,540千円 補修2件 37千円
可燃・不燃 設置25件 839千円 補修7件 174千円

2 資源ごみステーション管理運営補助金

資源ごみステーションの管理及び資源ごみの分別を推進するため、自治会にリサイクル推進員を配置してる。

自治会加入100世帯毎に推進員1人を設置し、月額1,250円（年額15,000円）を補助している。

業務内容は、資源ごみ回収日（月1～2日1時間程度）に、ステーションで立ち合いのうえ、分別の周知指導等を行う。

※H30実績

691人設置 10,365千円（560自治会）

3 地区コミ分別収集報奨金（売払収入還元）

資源ごみ売払収入を、売払量に応じて地区コミュニティ協議会に還元する。

※H30実績

17,990千円

2 資源ごみステーション管理運営補助金

資源ごみステーションの管理及び資源ごみの分別を推進するため、自治会にリサイクル推進員を配置してる。

自治会加入100世帯毎に推進員1人を設置し、月額1,250円（年額15,000円）を補助している。

業務内容は、資源ごみ回収日（月1～2日1時間程度）に、ステーションで立ち合いのうえ、分別の周知指導等を行う。

※H30実績

691人設置 10,365千円（560自治会）

3 地区コミ分別収集報奨金（売払収入還元）

資源ごみ売払収入を、売払量に応じて地区コミュニティ協議会に還元する。

※H30実績

17,990千円

薩摩川内市衛生自治団体連合会補助金

1 収集所維持管理用品購入補助金

収集施設のない一般廃棄物収集所をカラス、猫等から守るための網の設置及び看板等を購入する自治会に対し、購入費の5割を補助する。

1自治会当たり年50,000円を限度とする。

※H30実績

18件 110千円

2 一般廃棄物の処理に関する先進地等視察研修事業補助金

ごみの適正化处理、ごみの減量化及びリサイクルに関する施設の先進地等の研修視察を行う地区コミュニティ協議会または自治会に対し、1視察研修につき参加人員1名あたり2,000円を補助する。

1団体当たり3年度に1回以内とし100,000円を限度とする。

※H30実績

0件

以上 説明資料から

③地域おこし協力隊(資料による)の実績を見ると

定住率はⅠ期25~27年、Ⅱ期28~現在で平均55%。地域資源活用、賑わいづくり、生きがづくり、知名度アップに関与してもらった。旅・食・品の商品開発や地域課題の解決に関与。

応募は3倍~4倍でH25から8~10名がいくつかの地域に配置され要望に応じている。

まとめ

*自治会未加入者のごみ収集は公の施設を市内7か所に作り配慮。

会派としては、自治会費も負担しない市民に対し全て税金から施設設置をしていることには反対である。むしろ、南九州市のように未加入者は清掃センターまで運ぶか、戸別に業者に頼む方法を選択すべきと考える。

*分別収集は、始良市と似た状況だが、質疑の中で香川県先進事例を知ることができた。

*自治会については加入率が70%を切っている状態で当市より厳しい。

始良市としても現状に安住せず、具体的な改善を議会として志向していく必要がある。

*合併当初は10万人以上の人口だったが、31年4月1日現在では94,759人で1万人の減で、特に甕島は4千人余になり議員も不在で厳しい情勢だ。議会は26名の定員に対し現在は24名なのできめ細かく地域の意見を吸い上げるのは大変なご苦労と思われる。